

福島第一原子力発電所 2号機使用済燃料プールからの燃料取り出しに向けた 原子炉建屋開口作業の完了について

< 参 考 資 料 >
2024年12月16日
東京電力ホールディングス株式会社
福島第一廃炉推進カンパニー

- 2号機原子炉建屋使用済燃料プール（以下、SFP）からの燃料取り出しについては、原子炉建屋南側の燃料取り出し用構台から燃料取扱設備を出し入れすることで、取り出し作業を実施する計画です。
- 10月4日、燃料取扱設備を出し入れするためのアクセスルートとして、原子炉建屋オペレーティングフロア南側壁面にランウェイガーダ（※）用の開口（穴）を設けるための準備作業に着手し、11月23日～27日にブロック化した壁の引き抜きを行いました。
- 開口作業と並行して、10月24日からはランウェイガーダの構成部材である鉄骨ブロックの燃料取り出し用構台への運び込みも始めています。

※燃料取扱設備が原子炉建屋と前室の間を移動するために敷設する移動用レールの基礎
<11月28日までにお知らせ済み>

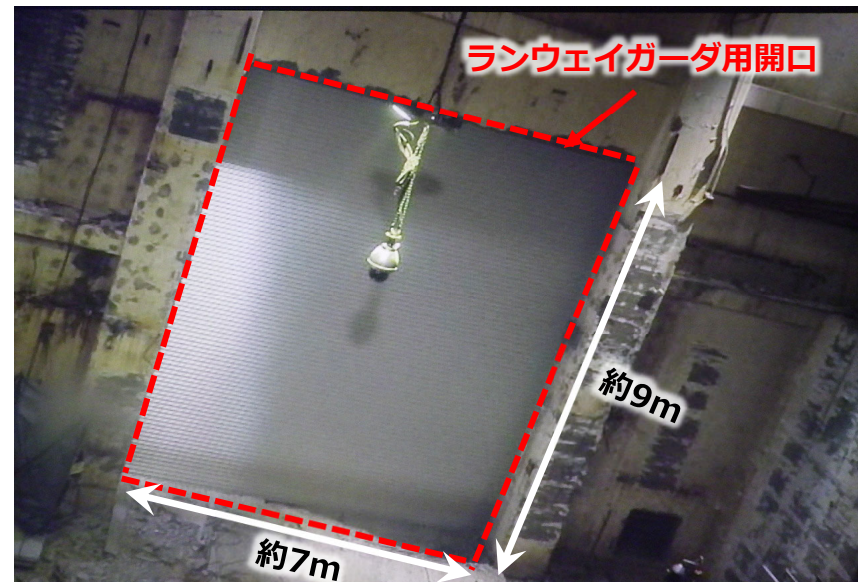
- ブロック化した壁を引き抜き後、ブロック化できない梁などの撤去を進め、ランウェイガーダ用の開口作業は12月9日に完了しました。
- また、人員用、その他設備用の開口作業も11月25日から進めており、12月13日に完了しています。これにより、2号機使用済燃料プールからの燃料取り出しに向けた原子炉建屋への開口作業は全て終えたこととなります。
- 開口作業にあたっては、建屋外に影響が出ないよう十分な対策を講じており、作業期間中にダストモニタ値の有意な変動はありませんでした。
- なお、12月16日時点で、ランウェイガーダの鉄骨ブロック全8ブロックのうち、3ブロックの構台への運び込みが完了しています。
- 引き続き、2024年度～26年度の2号機使用済燃料プールからの燃料取り出し開始に向け、安全かつ計画的に作業を進めてまいります。

ランウェイガード用開口作業

- 2号機原子炉建屋オペレーティングフロア側から重機を用いて壁の引き抜き等を実施。
- 作業員の被ばく低減のため、重機は免震重要棟から遠隔で操作。



作業前
(撮影日:2024年11月22日)



作業後
(撮影日:2024年12月10日)

※いずれも2号機原子炉建屋オペレーティングフロア内部から南側壁面を撮影
※作業後の開口部にはシャッターを設置

(参考) 2号機燃料取り出し用構台と開口のイメージ

